

# 宇都宮市創造都市研究センター

## <組織概要>

- ・宇都宮市創造都市研究センターは、市内の私立4大学（宇都宮共和大学、作新学院大学、文星芸術大学、帝京大学）と自治体・産業界等が連携し、宇都宮都市圏の創造都市による発展を目指し、設立されたプラットフォームです。

## <構成大学等>

- ・大学：宇都宮共和大学、帝京大学宇都宮キャンパス、作新学院大学、文星芸術大学
- ・行政：宇都宮市役所
- ・企業：トヨタウッドユーホーム
- ・団体：宇都宮商工会議所、宇都宮市商店街連盟
- ・NPO：NPO 法人宇都宮まちづくり推進機構、NPO 法人とちぎユースサポーターズネットワーク

## <協力校>

- ・宇都宮大学

## <主な事業>

- ・創造都市形成の研究
- ・魅力あるまちづくり・地域活性化の研究
- ・大学連携のあり方の検討（モデル化推進事業）
- ・産学官連携の事業推進（まちづくり推進、各種交流等）
- ・市民等との交流（サロン設置、生涯学習の推進）
- ・市民や市内各団体・企業への学術調査・研究支援・相談対応

## <中長期計画「地域の高等教育のビジョン・目標」>

各都道府県・市町村においては、それぞれの地域活性化を図り、人口減少問題等からの回避を図るため、地域資源の発掘や発信力（プロモーション）など取り組みが重要な課題となっている。いわば、「自治体間の知恵比べ」の時代で、その重要な戦略として「地方創生」の推進対策がポイントとなっている。この「地方創生」を図るための中心的役割は、「ひと」であり、この「ひと」を育てるのは、「地（知）の拠点」としての大学がその使命を担っているものと考えられる。

- ① そこで、地域において特色ある研究・教育を行っている複数の大学等が一層の連携を図りながら、地域における高等教育機関としての役割・存在感を発揮していくことが重要となっている。また、10年後・20年後の18歳人口を考慮すると、高等教育機関の数がアンバランスとなることが明白であることから、大学等の在り方についても真摯な検討を行っていく必要がある。
- ② また、大学等の連携のみならず、地域の企業・自治体等とも十分な連携を図りながら 研究・教育に当たり、地域における高等教育の質の向上を図るとともに、地域における課題解決のための共同研究及び教育及び文化の向上・発展等に高等教育機関として寄与していくことが求められる。
- ③ 更に、地域間の連携・協力にとどまらず、都市圏や海外の大学との交流を活発に行い、地域に必要な人材の育成に努める必要がある。

## ○目標設定

- ・大学間の連携の推進
- ・大学の在り方の検討
- ・地域における高等教育の質の向上及び地域発展
- ・地域から求められる人材の育成

## ○数値目標

①～④は本事業に参加する各大学の数値目標

①地域活性化・まちづくり関係の取組件数

各大学における取組件数：平成 28 年度比 20%増

②CCN（文化庁・創造都市ネットワーク）加盟自治体数

県全体 0→5

③社会人の受入れ

各大学における受入れ学生数：平成 28 年度比 30%増

④留学生の受入れ

各大学における受入れ学生数：平成 28 年度比 20%増

⑤、⑥は本事業の効果による数値目標

⑤県内大学への入学者数増加の推進

	平成 28 年度	令和5年度
県内進学者数	※9,211 人	9,000 人
県内入学者数	※2,028 人(22%)	2,700 人(30%)

※平成 28 年度：文部科学省「学校基本調査」

⑥地域から求められる人材の育成

	平成 28 年度	令和5年度
県内大学卒者の県内就職率	※45.4%	55%
Uターン就職率	※30.0%	35%

※平成 28 年度：栃木県総合政策部及び栃木県労働政策課調査

<具体的な施策及びそれぞれの達成度を測る指標（ロードマップ）>

施 策	H29	H30	H31	R1	R2	R3	R4	R5
大学間の連携（総合型大学の企画，検討）	○	○	○	○	○	○	○	○
同（創造都市形成と地域課題の研究）	○	○	○	○	○	○	○	○
同（単位互換）	○	○	○	○	○	○	○	○
同（共同授業）		○	○	○	○	○	○	○
同（共同教育プログラムの策定）		○	○	○	○	○	○	○
同（FD・SD）	○	○	○	○	○	○	○	○
同（人事交流）		○	○	○	○	○	○	○
同（施設・設備の共同利用）		○	○	○	○	○	○	○
高大接続（高校，大学，自治体等の協議）		○	○	○	○	○	○	○
生涯学習（リカレント教育等）の推進		○	○	○	○	○	○	○
地域の国際化の実践的推進		○	○	○	○	○	○	○
公開講座の開催	○	○	○	○	○	○	○	○
産学官による地域活性化のための共同研究		○	○	○	○	○	○	○
産学官連携による就職支援	○	○	○	○	○	○	○	○

※公開講座の開催については，毎年度実施することとした。

<学術分野マップ>

	人文 科学系	芸術・ 文化系	福祉系	経済・ 経営学系	農学系	理工学系	医療 技術系
宇都宮大学	○ 国際・教育	○ 教育			○ 農業	○ 地域デザイン 科，工学	○ 医療工学
宇都宮共和 大学	○ 子ども生活		○ 子ども生活	○ シティライフ			
帝京大学宇 都宮キャン パス				○ 地域経済	○ バイオ	○ 機械・航空・ 情報電子	○ 柔道整復
作新学院 大学	○ 心理・教育			○ 経営・スポーツ マネジメント			
文星芸術 大学		○ アート・デザ イン・マンガ					

## <栃木県と宇都宮市における人口動態に関する研究>

宇都宮市創造都市研究センターでは、栃木県や宇都宮市における人口動態に関する研究を行っています。以下の研究論文は、本センター運営委員の学術論文です。

吉田 肇 (2013) 重力モデルとコーホート分析による栃木県の人口移動に関する研究. 『都市経済研究年報』第 13 号. pp130-135.

1985 年, 1995 年, 2005 年の 3 時期の栃木県の人口移動について, 人口規模と距離を考慮した「重力モデル」を当てはめて多面的に分析した。その結果, 2005 年では, 少子高齢化や労働市場の悪化等に伴って, 高校生・大学生～就職期を迎える「15～24 歳」の転出人口が 1995 年と比べて 2/3 になるなど, 全国的に移動量が減少していることがわかった。

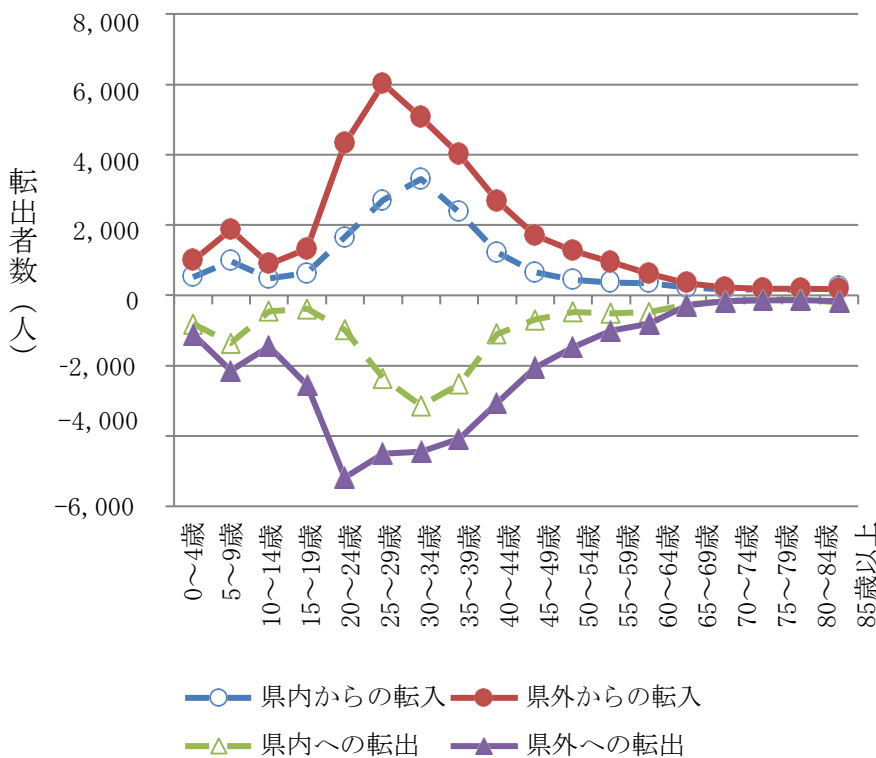


図 宇都宮市の年齢階級別転出入人口 (2005 年→2010 年)  
資料: 国勢調査より作成

吉田 肇 (2014) 栃木県における都市と中山間地域の変容と交流に関する事例研究. 『宇都宮共和大学論叢』第 15 号. pp41-60.

1970～2010年にかけて, 栃木県内でどのような地域変容や地域間交流があったのか, 宇都宮市と茂木町を採り上げて, 定量的に傾向分析を行った。その結果, 通勤率から見た宇都宮市の都市雇用圏が拡大していること, 転出入とも 20 代～30 代が多く, 人口移動が活発であることがわかった。

宇都宮市では、戦後急激な人口増加とともに都市域（市街地）も拡大しつづけてきた。近年、人口増加が鈍化しているが、郊外での人口増加（特に子育て世代）は著しい状況が続いている。一方、中心部では人口減少、高齢化が顕著である。

図 宇都宮市における 1971-89 年生まれ  
コーホートの人口増減数 (2005-10年)  
資料：国勢調査より作成

